


西高ニュース 第128号	県立伊丹西高等学校 住所：伊丹市奥畑3丁目5番地 TEL：072-777-3711 FAX：072-777-3712 HP：http://www.hyogo-c.ed.jp/~itaminishi-hs
 校訓 克己、協調、創造	

総合ヒューマン校外学習

12月7日(木) 期末考査終了後、総合ヒューマン類型の1年生36名が聖和短期大学保育科の施設見学及び体験学習へ行きました。保育科の学校説明を聞いた後、本校卒業生で聖和短期大学2年生の高久さんから、大学生活のことや高校生のうちにしておいた方が良いことなどを話してもらいました。

関西学院幼稚園では、自然を活かした保育環境を園長先生に案内していただき、園庭を歩いてきました。おもちゃとえほんのへやでは、実際におもちゃでの遊びを体験し、生徒はみんな童心に戻っていました。他にも図書館、ラーニングcommons「リプラ」を見学しました。また、ミニ講義では三匹の子豚の話を見聴覚教材を使って聞かせていただいたり、新聞紙を使って折り紙をしながら子どもにお話をする方法などを教えていただいたりしました。いろいろと貴重な体験をした半日になりました。



生徒の感想より：

『子どもには生活や遊びを通して物事を伝えてあげるということを学びました。また、子どもは絵本のお話に自分を照らし合わせて気持ちを消化することや大人の接し方が子どもの性格などに影響することを知りました。』

『講義で先生がおっしゃっていた「色々な性格の子どもがいるから一人一人の気持ちを大切に育てあげろ」ということが私は子どもと関わる仕事をする上でとても大切な事だと思いました。』

『私は保育士を目指しています。今回の校外学習で、今後子どもと関わる際に大切な事をたくさん学ぶことが出来ました。幼児教育をしていく上で子どもたちの命を託されているという緊張感を常に持つておくべきだと思いました。』

学校保健委員会

12月14日(木) 本校会議室にて学校保健委員会が開催されました。出席者は学校医の安井先生、学校薬剤師の南波先生、PTA執行部の方、PTA保健委員の方と本校職員です。本校生徒の心身の健康や安全について話し合いを行う場です。そこで生徒代表として生徒保健委員会委員長2-1 篠木 勇人さんと2-3長岡 竜太くんが発表してくれました。篠木くんは西高祭展示発表の「ケガの処置クイズ・ファイナルアンサー？」について報告し、「皆が知らないようなことや常識だと思っていたことが実は違う、などといったことを問題にしました。例えば、Q10の問題わかりますか？」と出題したところ、PTA役員の方がズバリ正解しました。お見事でした！



長岡くんはその他の保健委員会の仕事を紹介してくれました。検尿回収、体育大会の救護係、『保健だより』作成、風邪予防のポスター作りなどです。「僕は『保健だより』を作成する際、校内で部活動をしている人に協力してもらって熱中症予防に関するインタビューを行い、そのインタビューを基に『保健だより』を作成しました。」実際に作成された『保健だより』を見て、出席者の皆さん関心することしきりでした。

最後に篠木くんからの提案がありました。「インフルエンザや風邪の予防のために教室の換気を徹底していきたいと思います。具体的な活動内容は一日一回、昼休憩のときに保健委員が窓を開けて換気することです。」南波先生からは、教室の空気検査の結果、二酸化炭素濃度が3600ppmで基準値の2倍以上であったこと、インフルエンザの予防のためにも換気は重要であることを助言として頂きました。篠木くん、長岡くん、とても立派な報告でした！

球技大会

12月18日(月) 1年生の球技大会が行われました。みんな元気いっぱいです。



12月19日(火) 2年生の球技大会の様子です。寒さに負けず、こちらも元気です。



心のサポート事業・保健講演会 「薬物乱用防止」

12月20日(水) 本校体育館にて「薬物乱用防止」教育講演会が行われました。講師は本校学校薬剤師であり近畿中央病院薬剤部長をされている南波 勝栄先生です。学校薬剤師として学校の飲料水やプールの水質検査、教室の二酸化炭素濃度などの空気・照度などを測定していただいております、とてもお世話になっている先生です。講演の内容は一般薬のお話で、私たちは病気になると薬のお世話になりますが、あくまで薬は回復のサポート役に薬に頼りすぎないことが大切と言われた言葉が印象的でした。食事・睡眠などにより免疫力を高めて回復することが大事だそうです。続いて危険薬物の話です。使ってはいけないのはもちろん、持っているだけで犯罪とのことでした。危険薬物を使用したせいで交通事故を起こした人の話はもちろん、体重を気にしている女子がインターネットで外国製のダイエット薬を購入し服用したところ、2週間で標準体重を割り込むほど体重が落ち、喜んだのもつかの間、怒りっぽくなったり言っていることが支離滅裂となり、受診すると薬物依存になっていたという話でした。「怖かった」という感想が多かったです。薬物の依存性や耐性の話など絶対に自分は危険薬物には関わらないという思いを強くした講演会でした。もうすぐ冬休みでクリスマスやお正月など楽しい行事を控え、ピリッと気が引き締まったひとときでした。

